

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：戸塚せせらぎ保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：佐藤 美佳	定員（利用人数）：80名	
所在地：〒244-0002 神奈川県横浜市戸塚区矢部町3001-2第7山洋ビル1階		
TEL：045-443-6976	ホームページ： http://www.cosmo.bz/ed/totsuka-seseragi/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2016年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人大和まほろば福祉会 あいの里せせらぎ保育園		
職員数	常勤職員：19名	非常勤職員：7名
専門職員	（専門職の名称）：名	栄養士：2名
	保育士：19名	子育て支援員：1名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	1階保育室	職員室
	2階保育室	厨房
		トイレ

③理念・基本方針

<p><理念> 自分の力で自分の人生を切り拓き人として自立し世のため人のために尽くす人を育てる</p> <p><基本方針></p> <ol style="list-style-type: none"> お客様第一主義 環境整備の徹底 クレーム最優先 <p><保育目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもの可能性を引き伸ばす ●人間の基本を身につける ●転んだら自分の力で起き上がる

④施設・事業所の特徴的な取組

<p><戸塚せせらぎ保育園の特徴的な取り組み></p> <ol style="list-style-type: none"> 体操指導 読み書きの学習指導 音楽（発声、ピアノ力）
--

- 4. 躰と道徳
- 5. 月1回の食育

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年09月15日（契約日） ～ 2022年02月03日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	4回（2020年度）

⑥総評

【戸塚せせらぎ保育園の概要】

●戸塚せせらぎ保育園は平成28年4月1日に開園し、JR戸塚駅東口から徒歩3分の所にあります。旧国道1号線沿いの商業地に位置する6階建マンション（第7山洋ビル）の1、2階を占有園舎としています。駅周辺は大型商業施設がありますが、駅から少し離れると畑や柏尾川の土手沿いの桜等、豊かな自然に恵まれ、都会の便利さと自然のバランスを保っている地域に位置しています。

●戸塚せせらぎ保育園の保育サービスは、乳児・幼児保育、産休あけ保育、障害児保育、延長保育を行っています。園舎は1階が64.139㎡で0歳児6名、1歳児12名の保育室とし、2階は131.18㎡で2歳15名、3歳児15名、4歳児16名、5歳児16名の保育室を設定し、全保育室は南向きに設けられており、陽当りは良好です。また、約132㎡の砂地の園庭を有し、固定遊具は設置しないで子どものかけっこ、ボール遊び等で自由に活発に身体を動かす事を重視して保育をすすめています。戸塚せせらぎ保育園の子どもたちは保育士の温かい見守りの下、のびのびと元気いっぱい園生活を楽しんでいます。

◇特に評価の高い点

1. 【自分の力で自分の人生を切り拓く力・人間力を育てる保育の推進】

●戸塚せせらぎ保育園は、保育教育理念の根幹を「人間力をつける教育」に置いて保育を行っています。「人間力をつける教育の柱」として『体操・学習・音楽・躰と道徳』の4つの柱を指導計画の中心に位置づけ、カリキュラムの主活動として実施しています。「体操」は、美しい体操をより正しく、より強く、より安全に出来るようにしています。園では、乳児の柔軟運動から始まり、卒業までに逆立ち歩き10m、跳び箱10段、180度開脚を全園児ができるようになって就学していきます。「学習」では、読み書き、計算について知ること、分かることの面白さに気付き、学びに向かう力を育てています。「音楽」は、音楽を通して創造性を培い、イメージを表現できるように支援しています。また、鍵盤を弾ける成功体験を積み重ね、演奏する楽しさにつなげています。「躰と道徳」については、人としての基本として、善悪の区別、大切な生き方、言葉と作法等を、朝の会、体操等のカリキュラム活動を通して学んでいます。保護者は、戸塚せせらぎ保育園の保育について理解を示し、子どもの「できることが増える」を喜び、好評を得ています。

2. 【組織全体で園の発展に取り組む】

●戸塚せせらぎ保育園では、中・長期事業計画として平成31年度から令和3年度までの園の「発展計画」を策定しています。発展計画のビジョンは、「未来を背負う子どもたちを保育理念・目標に沿って立派に育てる事で社会に貢献する」、「社会人として指導者として恥ずかしくない人格形成を目指す」、「子ども、保護者、地域社会、我々の生活を豊かにする幼児教育日本一を目指す」を掲げています。そして、在園児と職員の推移、人材育成、保育内容等、各年度に実施する計画があります。今年度の戸塚せせらぎ保育園の発展計画は、「勇気を持って踏み出す一歩」をテーマにして示し、計画内容は

プロジェクトチームの始動、環境整備・安全部門、行事部門、他園交流・情報部門、研修・キャリアアップ部門に設定し、部門ごとの目指す目標、担当者を定めて実施しています。今年度、最重要事項として、プロジェクトチームの始動であり、保育の4本柱「体操」「学習」「音楽」「躰と道徳」を行っていきます。担当職員は、「過去、これまでに囚われない新しい方法を取り入れていく」、「園の方針に沿っているならチャレンジ精神を持って行ってみる」、「柔軟な発想で面白いことを考え・計画し、実行していく」等、意欲と気概を持ち、園の活性化につながっています。また、職員は、「本物の先生」になることを目指し、取り組んでいます。

3. 【楽しく・美味しく・良く噛んで、食べる食育】

●戸塚せせらぎ保育園の食育目標は、『食べる意欲を大切にし、食体験を生かして「楽しく」・「美味しく」・「良く噛んで」食べる。食べ物を大切にする』としています。食育は、年間計画に沿って夏野菜の苗植えから収穫、下ごしらえ・調理を行い、月1回は、旬の野菜の下ごしらえ・調理や行事食のクッキングを実施しています。食育計画は、毎月詳細な計画になっており、中でも、7月、8月は、夏野菜の収穫と調理、とうもろこしの皮むき、お泊まり保育でのカレー作り、そして、野菜の浮力調査（土の中にある野菜は水に沈む）を実施する等、科学的観点からも食育に取り組み、子どもたちの関心・興味を深めています。また、令和3年1月では、80cm以上あるブリの解体ショーを行い、子どもたちは初めての経験に驚嘆し、命に感謝して食べ物を大切にするにもつなげています。家庭へは、月1回、給食だよりを発行し、歳時記や食材の効用、副菜レシピ、食育豆知識等を紹介しています。調理士の安心・安全な食事と、職員の食育への取り組みのアイデア、工夫は評価できます。

◇改善を求められる点

1. 【保護者との情報共有へさらなる取組み】

●戸塚せせらぎ保育園では、体操、学習、音楽、躰と道徳を4本柱として「人間力をつける保育」の活動が行われています。そして、利用者アンケートからは「活動を通して、子どもたちも自信をつけている」、「健全であり、預けていて満足であり安心」、「どの先生も大変熱心で一生懸命に保育して下さる」等と好評です。一方、「懇談会や個別面談等での意見交換」、「送迎時の職員との会話、連絡帳・掲示物からの1日の様子」、「相談ごとへの対応」、「園の様子や行事に関する情報提供」、「年間指導計画・行事計画について」等では比較的不十分という結果が見られます。保護者の子育て支援については、前年度の評価でも同様な傾向がみられましたが、今年度は連絡帳等の他にICTを活用し、インスタグラムやZoomを有効に活用しています。その結果、不満とする割合は大幅に改善されていますが、保護者との情報共有はさらに工夫が望まれます。保護者の声の中に、「Zoom配信は保育参観できない今、とても嬉しいので参加したい」、「もう少し早く連絡頂けると仕事調整してオンライン参加が出来ます」等もあり、これらの意見も参考にして保護者との情報共有に力を入れ、さらに保育に対する安心感・信頼を高めていかれることを期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 : 戸塚せせらぎ保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

毎年度お世話になっております。

今回も学ぶことが多くあり、計画の見直しや改善に向けた課題が見つかりました。

ありがとうございました。

<評価後取り組んだ事として>

1. 入園のしおり、全体的な計画の見直し
2. 利用者アンケート結果を職員と共有し、意見交換
3. 園の様子・子どもの様子が各家庭に、より一層伝わるための会議（園長と主任）を実施

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり